



ZAF2014

逗子アートフェスティバル

無料ガイドブック

ZAF2014 ごあいさつ

逗子アートフェスティバル 2014 実行委員会委員長 渡邊忠貴

逗子市民の皆さん

いよいよ、逗子アートフェスティバル 2014 (ZAF2014) が9月20日から始まります。多くの市民サポーターとボランティアの皆さんの支援を得てこのフェスティバルを開催出来ることは主催者としてもこの上ない喜びであり、皆さんのご支援に深く感謝します。

ZAF2014 は、アートディレクターに山重徹夫氏を迎え、蘆花記念公園から市の中心部にかけてアートの輪を広げます。石多さんの率いるメディアアート、64 回目を迎える文化祭、多彩な市民企画は昨年以上に洗練され、楽しく充実した内容で鑑賞家としても目の肥えた皆さんの前に自信をもって登場します。ご期待ください。

この文化の香り豊かな催し物は、皆さんが、現場で直接見聞することにより、しびれるような興奮と感動を味わい、それをお互いが共有することにより、更にコミュニケーションの輪が広がってゆきます。

東逗子に至る市内 23 か所で 11 月 24 日まで繰り広げられる ZAF2014 に是非、お越しください!!

共生する逗子のまち、素敵ですね。



逗子市長 平井竜一



市制60周年事業である今年度は規模を拡大し、様々な企画で逗子のまちがアートでいっぱいになる、賑やかな2か月間になりそうです。昨年度に引き続き、今年度も夜遅くまで活動し企画を練り上げてきた逗子アートフェスティバル実行委員会、アートディレクターの山重徹夫さんをはじめ関係者の皆さんの、多大なご尽力と熱意に、あらためて感謝申し上げる次第です。

逗子市は「地域の文化を市民の手で拓く」を基本方針として文化振興を進めています。逗子アートフェスティバルが逗子の地域文化の発展の核となり、市民の皆さんにますます浸透していくことを願っております。

市民の皆さん、逗子ならではのアートを、感じ、参加し、大いに楽しみましょう!

逗子市教育長 村松雅

文化や芸術には、人々の創造性を育み、生活に潤いと豊かさをもたらすだけでなく、世代や立場を超えた他者との触れあいの機会を与え、多様性を受け入れる土壌を醸す、そんな力があります。逗子のまちなかの市民の様々な活動を一緒にアピールすることで、文化・芸術の持つ力を、今まで文化・芸術に触れていなかった方も含めて、市民の中に浸透させていくものと思います。また今回は、国内で活躍するアーティストによる「逗子アートサイト」も開催されます。若手の芸術家による刺激を得て、逗子における文化・芸術がますます成長・発展していくことを期待してやみません。「逗子アートフェスティバル 2014【ZAF2014】」の成功を、心より願っております。



ZAF2014 INDEX

ごあいさつ	2p	逗子アートサイト	アーティストインデックス				
オープニングイベント	3p	・赤松功	17p	・tarinainanika	3p	・丸橋浩	19p
ZAF2014 連携公演	3p	・浅沼知明	18p	・東城信之介	11p	・三好由起	9p
ガイドマップ	4-5p	・伊藤知宏	17p	・花沢忍×外口理恵	20p	・森健太郎	10p/16p
メディアアーツ逗子	6p-7p	・浦部裕光	13p	・林勇氣	10p	・森本一朗	11p
逗子アートサイト	8p-22p	・大野公士	21p	・半谷学	13p	・山口貴子	12p/20p
逗子市文化祭	23p-27p	・小原一洋	22p	・藤井龍徳	15p	・大和由佳	18p
市民企画	28p-31p	・逗子ヤーンボンパーズ	16p	・藤原京子	19p		
		・鈴木孝幸	15p	・松村忠寿	22p		

9/20 (土) オープニングイベント

13:00-14:00 「tarinainanika コーポリアルマイム」 入場無料

「二人の人間がベンチに座っている。二人の距離は離れている時で50センチ程度、近ければ数センチ、時にはそれ以下のこともある。」この作品は、ベンチに座っている様々なカップルの様子から着想を得たもので、「二人の距離」をテーマに男女二人の関係性について問い掛けています。隣同士に座る二人は、時には相手がとても近く感じることもあれば、また時にはとてつもなく離れているように感じることがあるかもしれません。作品内では、一脚のベンチを二人が共有することで見出される数々の問い掛けが、ヌーベルヴァーク、サイレントムービー、ミニマリズム、古典主義などの多様なスタイルを使って描写されています。フランス発のドラマチックな身体表現「コーポリアルマイム」の身体表現を軸に、日本語と英語のセリフ、音楽、映像を組み合わせることで構成された作品です。

また、公演後には tariniananika によるコーポリアルマイムのミニワークショップを行います。カラダでドラマを体験できる稀少なチャンスです。是非ご参加下さい。公演時間：20分 / ミニワークショップ：20分



14:00-15:30

「オープニングフォーラム」入場無料

逗子市長とディレクターの山重氏ほかによるトーク。
今後の逗子におけるアートシーンの展望について話します。
(司会：伊藤裕夫)



10/26 (日) 逗子アートフェスティバル2014 連携公演

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 《光と音が奏でる風景》



© 堀田正矩

音楽監督に宮本文昭、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁し、秀逸なプログラミングと精緻なアンサンブルで注目を集めている東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団による珠玉のモーツァルト。今回は通常のコンサートとは大きく趣を変えて、演奏に合わせた映像の光によるライブ演出が加わります。豊饒なオーケストラの響きを聴きながら、目の前に広がる新たな感動の世界をお楽しみください。



〔指揮〕上野正博〔演奏〕東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団〔映像演出〕michi
〔プログラム〕オール・モーツァルト・プログラム

音楽の冗談 K.522、アイネ・クライネ・ナハトムジーク、交響曲第41番八長調 K.551《ジュピター》

会場 逗子文化プラザなぎさホール / 日時 10月26日(日) / 開場 14:30 開演 15:00

全席指定〔一般〕3,500円〔高校生以下〕2,000円

チケット申込み・お問合せ〔逗子文化プラザホール〕046-870-6622

宝くじ助成金事業



逗子アートフェスティバル

ZAF2014 ガイドマップ



● 聖和学院

● 久木小学校

14

JR 横須賀線

16

逗子駅

スズキヤ屋上 **B** 6 7

逗子商店街 **C** 8

8

新逗子駅 (北口)

11

逗子市役所

P

P

P

● 逗子小学校

逗子海岸
ロードオアシス

P

● 逗子開成学園

7

● 逗子郵便局

新逗子駅 (南口)

逗子文化プラザホール
15 17 18 ★ 23 (E)

カトリック逗子教会
5 22 23
(聖マリア小学校)

20

21

1

黒門カルチャーくらぶ
D 9 2 10 P 13

逗子湾

9

● 六代御前の墓

盧花記念公園
E ★
10 11 12 13 14
15 16 17 18 19
20 21 22 23 24

国指定史跡
長柄桜山古墳群
第2号墳

葉山港

長柄トンネル



神武寺駅

4

逗葉新道

P

東逗子駅

19

● 逗子警察署

● 沼間小学校

交流センター、
フェスティバルパーク

3 6 12

逗子市消防本部

東逗子旧キリガヤ





A ★

1 2 3
4 5

逗葉高校

逗葉新道

国指定史跡
長柄桜山古墳群
第1号墳

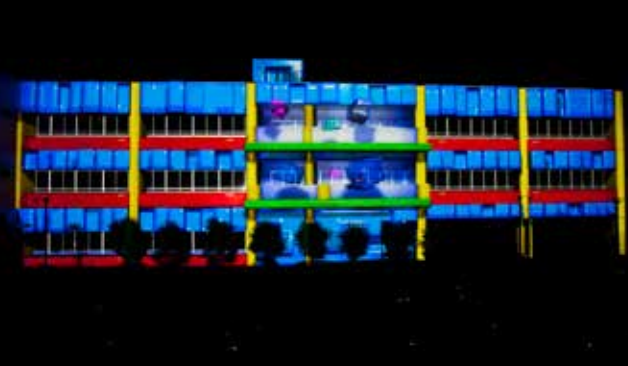
-  逗子アートサイト会場
-  逗子アートサイト作品
-  市民企画
-  逗子市文化祭

ma/z

メディアアーツ逗子 2014

9/20[土]～28[日] 神奈川県
逗子市内各所

www.medi-artz.com



1 minute projection mapping show / International mapping competition プロジェクションマッピングショー (1分間のPM 作品国際コンペ)

日本中で昨今話題になっているプロジェクションマッピングも、逗子では今年で既に5回目を迎えます。3年目からは国際コンペとなり、ますます話題を集め、ZAFとMEDI-ARTzだけではなく、逗子の大きなイベントの1つになっています。1分という短い時間の中で、世界中のクリエイター達がその表現を競います。1年目はインドネシアのSembilan Matahariが、2年目の昨年は日本のFLIGHTGRAFがそれぞれグランプリを獲得しましたが、今年はどこかの国のどんな作品がグランプリとなるのでしょうか？様々な国の多様な作品を一度に見られるのは、日本でもこのショーだけです。

日時：2014年9月20日 18:30～(18:00開場) 20:00～(19:30開場)

2014年9月21日 18:30～(18:00開場) 20:00～(19:30開場) ※各回入替え制です。

会場：逗子文化プラザ フェスティバルパーク / 入場：無料

※入場には、整理券が必要となりますので、事前に入手し当日受付迄お持ち下さい。WEBや市内各所で入手可能ですが、枚数に限りがあります。入手方法等はメディアアーツ逗子のホームページ、パンフレット等をご参照下さい。

審査：9/21の18:30の回に審査員を招いて公開審査を行います。

審査員：平井竜一(逗子市長)、村松亮太郎(NAKED Inc. 代表)、山重徹夫(逗子アートフェスティバル アートディレクター)、石多未知行(メディアアーツ逗子 総合プロデューサー、プロジェクションマッピング協会 代表理事)、他
整理券が入手できなかったり、会場へご来場頂けない場合、こちらのインターネット中継でもお楽しみ頂けます。

<http://www.ustream.tv/channel/medi-artz-1minpm> (9/21のみ)

室内型プロジェクションマッピング

プロジェクションマッピングの魅力は建物で行う大規模なモノだけではなく、屋内や小型のモノには、大型のモノにはない多様さ、繊細さ、そして新しさや可能性の宝庫です。そんな可能性に溢れたプロジェクションマッピング作品が集まるのがこの企画です。こちらにもコンペになっており、ご来場の皆さんにも審査に参加頂けます。

日時：2014年9月20～21日 12:00～18:00 / 会場：逗子小学校体育館、市民交流センター

入場：無料(混雑時は入場を制限する場合があります)

ライブステージ

GOCOO(太鼓バンド) × 神田サオリ(踊絵師) のコラボレーションステージ

映画 MATRIX での音楽を始め、世界中で活動している女性を中心の和太鼓バンド GOCOO と、踊絵師(ライブパイントパフォーマー) としていま最も注目を集めているビジュアルアーティストの、パワフルで美しいステージです。

日時：9月21日(日) 16:30～(16:00開場) / 会場：逗子文化プラザ なぎさホール

入場料：2500円(当日3000円) ※チケットや詳細はメディアアーツのWEBを参照下さい。

まちなかミュージアム

美術館を持たない逗子ならではの展示企画。

町の様々な場所をクリエイターの表現のスペースとし、新たなアートシーンや表現と町との関係を作ります。

向井 知子 映像インスタレーション

日常のビジュアルを切り取り、別の空間への再構築する作品で国内外でインスタレーション展示を行っている。神社境内での映像インスタレーションで、木々に囲まれた空間に鮮やかな映像のフレームが浮かび上がる。

日時：9/20～21 18時頃～21時 / 会場：亀岡八幡宮

北村 穰 まちなか AR 絵画

逗子の商店街の様々な店舗に花々の写真が展示されます。この写真はスマートフォンやタブレット端末のカメラを通してみると、動き始めます。※観賞には対応アプリの入ったスマホやタブレット端末が必要です。

日時：9/20～28 各店舗の営業時間 / 会場：逗子銀座、新逗子通り商店街の店舗

西村 伊央 symphonic photograph

無数の抽象的な写真を壁面いっぱい配置し、深く美しい空間を出現させます。さらに映像が加わり、無限の広がりを感じる様な空間を体験することができます。

日時：9/20～27 12時～19時 / 会場：逗子文化プラザホール ギャラリー

Takuto USAMI Falls

繊細にプログラミングされた映像の滝が、巨大な山肌で巨大投影されます。滝の前で人が動くと、それが映像にもインタラクティブな変化をもたらします。体験参加型のダイナミックな映像インスタレーション。

日時：9/26～28 18時～21時頃 / 会場：キリガヤ横（神奈川県逗子市山の根 1-2-35）

入場：無料 ※雨天や強風の場合は行いません。

高橋英明 × 穴井佑樹 × UweHaas “on the ground”

人は知覚出来ないものは、それらを無いものになってしまう傾向にある。このサウンドと音のインスタレーションではそれら“見えないもの”“聞こえないもの”を視覚化、聴覚化し、直感的に体感できる作品。

日時：9/20～21 12時～18時 / 会場：逗子小学校 音楽室（市民交流センターより入場） / 入場：無料

ART TALK SESSION

オーストリアのリンツで行われている世界最大のメディアアートの祭典と言われる「アルスエレクトロニカ」。

その祭典に携わり、自身も写真家である鷲尾和彦氏が、日本と世界のアートやフェスティバルのビジョンについて講演します。

日時：9月28日（日） 13:00～（12:30 開場）

会場：キリガヤ3階（神奈川県逗子市山の根 1-2-35）

入場：無料（事前申し込み制。メールにてお申し込み下さい）

その他に多数の企画や展示が有ります。

詳細はメディアアーツ逗子のホームページや Facebook サイトをご覧ください。

メディアアーツ逗子ホームページ <http://www.medi-artz.com>

Facebook サイト <https://www.facebook.com/ZushiMediaArtFestival>

Twitter @medi_artz お問い合わせ info@medi-artz.com

MEDI-ARTZ ZUSHI

ma/z
メディアアーツ逗子

Z U S H I

A R T S I T E

語 り は じ め る 都 市

Art exhibition in ZUSHI : Paintings, Sculptures, Photographs, Installations
Official website <http://zushi-artsite.com>

2 0 1 4

ZUSHI ARTSITE 2014 総合ディレクター 山重 徹夫

近年、人と社会を繋げるための市民活動が盛んに行われてきており、家庭と職場以外に社会と繋がるための第三の場所の拡大が進んでいます。そして、都市がその生涯教育や文化イベントなどの活動舞台を行政サービスとして市民に提供することが多くあります。しかし、過密した都市では自由に舞台を作ることが難しく、活動自体が本来のあるべき姿からかけ離れたものになることがあります。文化活動は、行政の枠組みに関係なく市民が主導しておこなわなければ、継続性と広がりを持たなくなってしまうのです。ひとりひとり「個」の繋がりが「地域」をつくる。「地域」の繋がりが「都市」を形作る。そのとき都市はまるで意思を持った一人の人間のような存在になります。

人格を持った都市、それが今回のテーマである「語りはじめる都市」です。

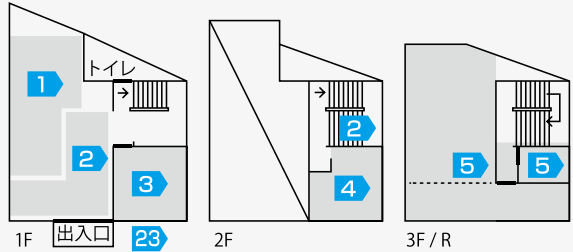
個が集まり集団を作ったとき、集団は独自の意思を持つ。それは、ときに個の意思を変え個を動かしていく。大切なのは、その意思の相違に気が付き、個と集団が対話することだと考えています。絶え間ないスピードで情報が交差し、モノがあふれる現代日本において、立ち止まり考えるという行為は疎かにされているように感じます。古来より日本人はわび・さび(侘・寂)という美意識のなかで、外の世界や自己との対話をしてきました。その一切の無駄を省き究極の美を求めた精神は、アーティストが作品を作るという行為に通じていると考えています。

なぜ私達は芸術文化活動をする必要があるのか、それは誰が支えるものなのか。今回は、市内の数箇所アーティストが長い時間をかけて現地制作を行い、その答えを考えるための場(サイト)をつくります。そして、鑑賞者はその場に身を置くことでアートと対話し様々な気づきを得るでしょう。アートのある場所は、時間や天候、鑑賞者自身の状態によって表情が全く変わります。期間中、何度でも足を運んで作品と共に時間を過ごしてください。

「豆子アートサイト2014」が対話のきっかけになることを切に願います。

東逗子旧キリガヤ

住所：逗子市沼間1丁目4-43



東逗子旧キリガヤ / 1F Higashi Zushi Former Kirigaya

1 三好由起 / Yuki Miyoshi

「Sound Drops」

「Sound Drops」は音の散歩道です。「粒」を触りながら、歩きながら、貴方だけの音の空間を創ってください。流れる音には生活音が混在します。普段は聞き流してしまう音に、再び出会う散歩になるかもしれません。

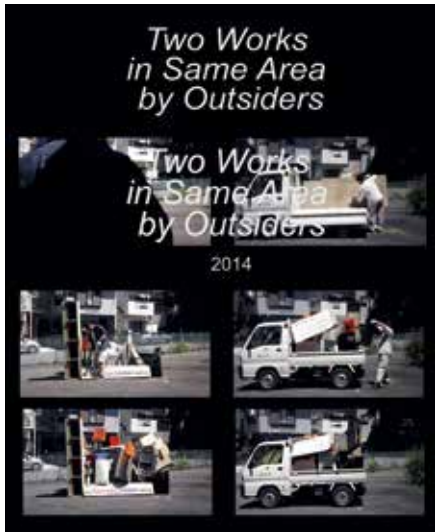
音楽：国広和毅 (kunihirokazuki.com) /
照明：竹田たえ / 回路設計：清水栄寿 /
制作協力：東京大学 CSIS 小林





2 森健太郎 / Kentaro Mori

「Two Works in Same Area by Outsiders/
Everyone is Similar to Something」



僕らの周りには様々な“意図した”造形物が存在しています。最初に逗子へ下見に来たときに、スズキヤの裏で荷物を台車へ乗せている人を見かけました。彼らが台車で荷物を運ぶとき、その荷物の置き方は外部の様々な要因によってリアルタイムで変化していきます。台車の上に荷物を乗せるという基本的なルールは同じでも、台車のサイズが小さいときは高く積み上げたり、荷物が多いたときは奥から詰めて置いたり、逆に降ろす時を考慮して手前側に置いたり…その都度状況に合わせて積み方は変化します。その置き方には荷物を乗せた人による明確な意図が存在します。僕らの考える“創造性”みたいなものは、実はそんなところから生まれてきているのではないか…スズキヤの裏で荷物を運ぶ彼らの姿を見ながら、ぼんやりとそんな事を考えました。



3 林勇気 / Yuki Hayashi

「afterglow」

私は自身で撮影したり、インターネットで特定のキーワードで検索して収集した膨大な量の写真を、コンピュータに取り込み、切り抜き重ね合わせることでアニメーションを制作しています。

そうすることで現実とつながっているかもしれない「もうひとつの世界」で起こるコミュニケーションや手触りを可視化しようと試んでいます。

「afterglow」は2009年に制作した作品です。インターネットにアップロードされた写真をデジタルカメラで再撮影し、写真に映り込んでいる光を抽出し、光の粒をひとつずつ切り抜き、つなぎあわせてアニメーションを制作しました。共有された光、データとしての光、時代の光。「afterglow」を再構成し光と記憶をつなぐ試みをします。



撮影：表恒匡

4 森本一朗 / Ichiro Morimoto

「ROUTE134」

まだ機械の事など全くわからない7歳くらいの頃、無い知恵をしばって考えた街の道を車で走るゲーム。

もちろんゲームとして成立はしていないのだが、成立していないからこそ、何か想像の迷路に惹き寄せられるものがあるような気がする。

親の車の後部座席からぼんやり窓の外を流れる風景を眺める。子供にとって大人の街は大きすぎて、とてもリアルにはとらえられない。

ゲーム画面の向こうと同じだった。



5 東城信之介 / Shinnosuke Tojo

「saimeizu」



時が留まった空間

目にすることや触れるとことで
微かに流れの片鱗をみせる

錯視なのか錯覚なのか
戸惑う真意を何度も確認する

いくつもの交錯が実像を生み
いくつもの実像が虚像を産む

困惑の余韻の中でも
順じ感じ応えたい

逗子商店街/スズキヤ屋上



逗子駅付近 / スズキヤ屋上 Around Zushi Station / SUZUKIYA Rooftop

山口貴子 / Takako Yamaguchi

「波」 Wave

事物の稜線をとらえることは、判断をおこなう基準の一つです。

しかし、時間の経過により変化する物事を捉えることは簡単ではありません。

決して一定ではない基準要素を繋ぎ合わせるその間には、その物事と接点を持つものとの間の蓄積された記憶があるように感じられます。

記憶の蓄積能力は人間や動物だけのものではありません。書物、歴史を物語る都市や建築物、植物や自然世界などにもみとることができます。

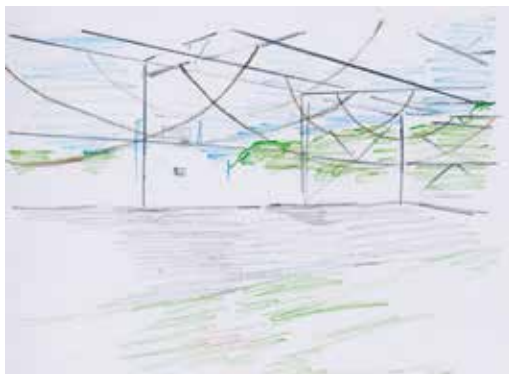
生体や環境、技術によって記憶の蓄積方法は異なりますが、その中で人は新たな記憶を発見した

いと願うからこそ、様々な手段で記憶を蓄積する技術や方法を編み出したのではないのでしょうか。

記憶に共感することは、新たな記憶（過去）への反応であり、現前する物質の記憶を再共有します。

それは、記憶の中にある稜線との差異を際立たせるでしょう。差異は曖昧さをつくりだし、稜線のずれは多くの事物の記憶の幅を拡大にさせます。

一瞬の永遠、またその反対を私たちは繰り返すことでほんの少しどこかへと移動することができるのです。





7 浦部裕光 / Hiromitsu Urabe

「ある幸多き年の事」 That of the year cover of some happiness



或る幸多き年の六月、ここからほど近い産院で私は生まれました。その時からかれこれ三十年以上、逗子が市制を施行して半分以上の時間をこの土地で過ごして来たことになる。木に鑿を入れ、削り、刻み、作品を仕上げていく行為は膨大な時間の集積であり、私がこの町に生まれて長い時間をかけて人格を形成してきた過程と同じだと思います。私が何を想い、何を感じ、今にいたるのか。なぜ作品を作るのか。その答えの1つの解釈を提示出来ればと思います。



8 半谷学 / Manabu Hangai

「Nature Umbrella in Zushi」

作品は逗子に吹く風を視覚化するための装置です。それは風の向きや強さや種類によって表情を変える白い傘の形をしています。

私たちはときどき自分たちが自然の一部だということを忘れてしまうことがあります。

自然を破壊して利益の追求ばかりを続けると、やがて静かな毒が生まれ、空へと逃げ出し、世界中を漂って別な場所に降り注ぎます。作品はそのような毒から私たちの心を治す自然治癒力の象徴として制作しました。自然を壊すことは私たちを壊すことです。風を地球のため息にたくありません。

作品の展示場所はとても対照的な2ヶ所になりました。ひとつは JR 逗子駅の銀座通り商店街にある菊池タクシー駐車場、もうひとつは蘆花記念公園の入口です。駐車場のある商店街は多くの人が忙しそうに行き交います。緑の多い公園入口は多くの猫が実に楽しそうに佇んでいます。



蘆花記念公園 /黒門

住所：逗子市
桜山8丁目2274-1



9 藤井龍徳 / Tatsunori Fujii

「潮の宿」^{やどり} なぎさからの報告 “Nest on the Shore” A Report from the Water's Edge

この眼の前の切り取られた光景が何処と何と繋がっているのかを感じる事ができるならば、我々は、さまざまな暴力の直中に居る事がわかるであろう。



10 鈴木孝幸 / Takayuki Suzuki

「place/part」

逗子という土地、その地面

その場所の持つ時間性、目には見えないものごと、形成された過程

水が流れ、川ができ、波が打ち寄せ、浜辺が形成される
歩くことで道が生じ、積み上げることで、場所がつくられる

土地は長い時間の中で生まれ、様々な要因によって、変化し続けている

逗子から 250km 離れた土地

私の暮らす、愛知県新城市

厚い岩盤の広がる河原、杉や松の植林によって整備された森
その土地もまた、長い時間の中で形成されてきた

土地は移動される

私の肉体を起点とした一つの行為

そこに生じる一つの時間

遠く離れた異なる土地は、削られ、掘り出され、新たな場所へと盛られていく

逗子を歩き、公園で立ち止まり、流れの中で形成された、新たな土地を観る

異なる時間、意識される距離





11 逗子ヤーンボンバーズ / Zushi Yarn Bombers

「蘆花公園毛糸化計画」 Roka park yarn bombing project

逗子近辺在住のメンバーによるニットアートグループ「逗子ヤーンボンバーズ」による作品。

ヤーンボンピングとはニットによって樹木、電柱、ガードレール或いは自転車、自動車、電話ボックスなどの構造物を覆い、風景を一変させる試みです。ヨーロッパ、米西海岸を中心に近年、世界中に広がりを見せています。毛糸という優しく温かいマテリアルを使ってカラフルでピースフル、そしてどこかクレイジーな世界を創り出します。

今回は蘆花公園の一角をヤーンボムします。

また、ヤーンボンバーズは特定の個人ではなく不特定多数の編み手メンバーで構成されています。そのため、最終的にどのような作品に仕上がるのか、主宰者にもわかりません。



12 森健太郎 / Kentaro Mori



「The Carry Out」

例えば、お店で毎日行う商品の陳列や、会社の自分のデスクの上に道具を置く行為や、駐輪している自転車を並べ直すような、生活の中で何度も繰り返される行為の中で、同じように創造性が生まれてきているとしたら、僕らはそんな日常の中での創造性をどこに置いてきてしまっているのでしょうか。もしくは気づいていながらあえて見過ごしているのでしょうか。今回、蘆花公園とキリガヤビルの2カ所で、近隣から集めた物品を使い、意図せず産まれた創造性を意図的に取り出そうと試みました。





13 伊藤知宏 / Chihiro Ito

「Pureism そこにあるものをえがく」



僕は9年間、「そこにあるものをえがく」というプロジェクトをおこなってきました。
ある日、僕は喫茶店でなぜ「そこにあるものをえがく」ことを行うのか、再考してみました。

ジャック・ケルアックの小説、「On The Road」に出てくる登場人物の、「先の見えない旅人」が見た、「目に見えるもの全てが生き生きとしている様子」（これには50年代の時代背景や、ヒッチハイク、アメリカのジャズの黄金時代のイメージがあります。）が自分の制作テーマにととても結びつくと思いました。

そしてある日、深夜番組を見ていると、ある作家と住職が対談していました。その作家は20年以上も火葬場で働いていました。ある人が亡くなる前に書いた日記の話になり、亡くなる前に、人は見えるもの全てが輝いて見える。小石が、雑草が、道が、子供が、友人が、恋人が、輝いて見えると言うことです。僕自身はそのような体験は一度もなかったのですが、その部分がとても印象に残りました。今回はその部分は僕が制作しているテーマと繋がるかと思いましたが、そのような直感的な感じが「Pureism」ではないかと思いました。

「Pureism」それは Death Painting であり、本当の意味での Live Painting だと思っています。



14 赤松功 / Isao Akamatsu

「THE TRACES -14・Zushi・The branches grow」



伐採され、野積みされた雑木や枝を今回は使い、
それに私の研磨した枝が伸びています。
空き地の斜面には野積みして、山道の両側には倒木
と枝を置き、そこに枝が伸びると不思議な風景のよ
うに見えます。伸びている枝は、本能を刺激し、
力を与えてくれるのではないかと思います。
もっと生きようと、、、。



15 浅沼知明 / Tomoaki Asanuma

「悲しい夢をみた」 I had a sad dreams.



無機的なブリキの鉄とグラスファイバーと、温かい質感を持った木を合わせて制作しました。現実感のない植物のようでもあり機械でもあるような、そんな夢のなかに出てくるような曖昧なモノを形にしています。

よく見ると、そんな花の後ろに小さな妖精のような人形が置いてあります。夢を見ているのが自分なのか、自分自身が夢なのか。そして世界の悲しさを見てしまったような、ちょっと儂い表情をしています。

16 大和由佳 / Yuka Yamato

「眺め／白い斑」 Landscape with White Spots

蘆花記念公園のなかの小径を登っていくと、背後にある長柄桜山古墳群にたどりつく。

これらの古墳は小高い山の頂に作られているので、海がよく見渡せる。それは海上からもこの古墳がひとつの目印になりえたということだ。古墳が作られた4世紀、近畿地方から三浦半島、房総半島方面への海上交通路があったこと、この古墳のつくりが、当時の畿内のヤマト王権との関係の強さをうかがわせるような完成度の高いものだということを知ると、古墳と海上との相互の眺めについて一層思いをはせなくなる。

今回、作品としてもひとつの眺めを用意することにした。

茂る草木の間にある涼しげな暗がりを通じて、眺めの先の遠く離れたところから迷い込んでくる一瞥がいるかもしれない。



17 藤原京子 / Kyoko Fujiwara

「シレンシオ」 Silencio



Silencio 浄化

鳥が囀ずり、梢が歌う古墳の山のなか、
安らぎとしての死を思う。
自然に還る滅びを思う。

風のなかへ朽ちていく、光のなかへ消えていく、
水のなかへ融けていく、闇のなかへ還っていく、
時のなかへと滅んでいく、
浄化を思う。

可視と不可視の境界に浮かび上がる情景を見つ
めていたい。

静謐が語りかける言葉に聞きいってほしい。

海を臨むこの場所で。

この森で。

18 丸橋浩 / Hiroshi Marubashi

「クモフネ」 KUMOFUNE

空と大地のあいだ、空と海のあいだに、浮かぶもの。

いにしえとみらいとのあいだに、浮かぶもの。

故人の魂を乗せ、時の波間にたゆたう。

一筋の線にそって、あちらとこちらとを行き交いつなぐもの。

いにしえの思いに今を重ね、その先の物語に思いを馳せる。

古代の人々が見し聞きしものを

この丘の頂きにて目をつぶり想像する。

東と西とを結ぶ海路、

つながりの結節点にて、東のこぼ、西のこぼを聞く。

この丘の眺めの中に

太古の空気の震えをみつけて

そっとその上に心に乗せる。

この座に身を横たえ、

風の声、虫の音、鳥のさえずり、木々たちのざわめきに、

心を溶かす。





19 山口貴子 / Takako Yamaguchi

「粒」 Particle

「光がみえた」このような言葉を人生の新たな基点を発見した際に人は用います。

何かを発見する際の閃き(光)の前には、多くの場合、経験や記憶の蓄積が必要ですが、その蓄積された記憶は全て正しいのでしょうか。

脳科学者によれば私たちの脳の記憶はとても曖昧であり、その多くの記憶は事実と異なっているそうです。

たとえば、よく見えない事物に焦点を当てることは、互いの記憶を擦り合わせ構築するようなものです。

その過程で私たちは間違えて記憶した記憶を多くの人たちと共有し論議させ、さらに多くの違いを共有します。

もしかしたら、私たち人間は真実から遠ざかった膨大な記憶の旅に出ることが好きなのかもしれません。

多くの異なった記憶は個々にとっては真実です。

違いは事実の輪郭を曖昧にしますが、その多くの異なった記憶を知ることは、自身ではたどり着けない正に真実にたどり着く可能性をもたらすのではないのでしょうか。



20 花沢忍×外口理恵 /

Shinobu Hanazawa × Rie Toguchi



「明日、遠いどこかで笑う」 She will smile some day, somewhere far beyond.



死んだ者の魂に想いを馳せること。いなくなった、消え去った者に対して語りかけ続けること。今、感じられるこの世界を愛おしむこと。

私たち二人は、身近で死んでしまった者へ、また死というものに悲しみ涙を流す人へ、森や海を歩き、語り、祈り、巡礼することを通して作品を作ります。花沢は当事者としての想いを絵や言葉にのせ、外口はそんな花沢自身を捉える視点として、死者と向き合うことで生者が寛容していくプロセスを提示します。

誰かが死んだときは、ちゃんと悲しまなければならない。それはいつ終わるのか、もしくは終わらないのかも分からないけれども彼女は言ってくれた。けらけらと笑いながら、頑張って、

と。だから、私もあの人も、もうちゃんと悲しんだのだから、もう泣いたり喚いたりはいらない。笑いながら、愛を吹きつけよう。木漏れ日の中で。海の風の中で。

森の中で生きては死ぬ、知らない命たちへ、もしかしたらあの人の魂かもしれないと、想い馳せ巡る。

美しい魂はわたしの心に生きつづける。あの人も、いま飛んでるかもめの魂も。

この世の美しいもの、すべてに感謝をして。



21 大野公士 / Kouji Ohno

「Distance: Face to Face book-ing」

20世紀以降、都市人口は急速に増大した。人口の過密した都市では、インターネットによる情報ネットワークシステムが都市生活の利便性を支える一つの重要なツールとなった。

人類学者のエドワード・ホールによると、巨大化した都市生活と人間の危機的状況を危惧している。氏が提唱した「パーソナル・スペース」という概念がある。この概念は、さまざまな動物が、危機感や外圧のストレスを感じないで、個体として本能的に安全を守る広さのことである。人口過密な都市空間において、我々はどうような範囲でパーソナル・スペースを設定しているのだろうか。

語りはじめる距離感とは、どのようなスペースにおいて有効なのだろうか？

対人関係を構築する究極の空間としての二つの二畳茶室を制作して、住空間において「語りはじめる」場の象徴として制作した。その二つの茶室の窓から眺める石庭は、鑑賞者が決して触れ合う事の出来ない距離を都市生活の隠喩として表現した。



22 半谷学 / Manabu Hangai

「Nature Umbrella in Zushi」

▶ 作品説明 P.13 参照



9/23 半谷学ワークショップ

再生をテーマに海藻紙などを使ってアートな葉っぱを作ります。いらなくなった小さなオモチャなどを持ってきてね。

材料費500円 定員20人

10:00-15:00 蘆花記念公園 野外炊事場

23 松村忠寿 / Tadatoshi Matsumura

「フキダシプロジェクト in ZUSHI ART SITE」 Balloon project in ZUSHI ART SITE

フキだし形のバルーンで言葉をビジュアル化するプロジェクト。人と言葉の関係を考える契機を提供し、いまここにしかない「景色」が生まれることを目指す。



9/20-21・10/4-5・10/11-12

つぶやいた言葉がフキダシの風船になります。参加無料

9/20-21: 文化プラザホール、10/4-5 と 10/11-12: 東逗子旧キリガヤ。開始 10:00 ~ (20日は 12:00 ~) 無くなり次第終了。他不定期に開催



24 小原一洋 / Kazuhiro Obara

「染みプロジェクト」 Shimi project

その土地の海、川、湖などの水の形を衣類やバッグへ染みとして落とし込む製作から始まったプロジェクト。現在はワークショップも多く展開している。



9/20-21・10/4-5・10/11-12

染料や布を使ってオリジナルのトートバッグを作るワークショップ。材料費 500 円

10:00-16:00 蘆花記念公園 野外炊事場



10/4 (土) アートツアー

ディレクターとアーティストと一緒に町を歩きながら、作品を見て廻る鑑賞ツアー。参加無料 / 天候により中止。※歩きやすい格好でご参加ください。

10:00 JR 東逗子駅集合 / 先着 30 名

【10:00-11:30 東逗子エリア】

12:30 JR 逗子駅集合 / 先着 30 名

【12:30-16:00 逗子駅・黒門・蘆花記念公園】



10/5 (日) アーティストトーク

アーティストの考えや作品コンセプトを深く知るため、過去から現在の作品をプロジェクターを使って解説します。入場無料 (司会:ディレクター山重徹夫)

10:00-12:00 前半 蘆花記念公園

12:00-12:00 昼休憩

13:00-16:00 後半 蘆花記念公園

逗子市文化祭



逗子市文化祭は1951年(昭和26年)第1回を開催しました。昭和26年は横須賀市から独立した年に当たり、気概に燃えて開催したものと推察されます。以来、逗子市文化祭は市民の文化活動の成果発表や鑑賞の場として歴史を刻んできました。1962年(昭和37年)2月、21団体の加盟により逗子市文化協会が設立され、合同発表会形式の文化祭となり、1989年(平成元年)からは逗子市の委託事業として開催されることとなりました。2005年(平成17年)待望の逗子文化プラザが完成、続いて市民交流センターやフェスティバルパークも完成し、一つの施設内で文化祭行事が出来るようになりました。今年度からは、逗子アートフェスティバルの主要事業として、地域文化の発展に貢献して参ります。

芸能部門

開催日順に掲載



第24回 逗子三曲会演奏会 心安まる和楽器のコンサート

会期：10月13日(月祝) / 時間：開場10:00 開演10:30 終演16:00 予定 / 会場：逗子文化プラザなぎさホール
三絃(三味線)・箏(琴)・尺八の3種の和楽器による合奏を三曲といいます。和のアンサンブルを求めて、三絃、箏、尺八の調べを日々追及し、活動しているグループ逗子三曲会。日本文化を学び広める活動として、文化交流イベントへの参加、学校での演奏、ボランティアとしての慰問演奏、各人の演奏会活動等を経て、日々の成果の集大成として文化祭演奏会を行います。どうぞ和楽器による心休まるコンチェルトをお楽しみください。

主管団体名と連絡先：逗子三曲会 梅山 046-873-3543

ポハイクウクレレ ハワイアンコンサート 楽しく、明るく、と一緒に歌いませんか？

会期：10月14日(火) / 時間：開場13:30 開演14:00 終演16:15 予定
会場：逗子文化プラザなぎさホール

ポハイクウクレレは結成11年を迎え、逗子市文化祭には7回目の参加になります。月3回の練習に加え、老人ホーム慰問演奏会や逗子市の文化都市造りに協力してボランティア活動に力を入れております。ハワイアンをはじめ色々なジャンルの音楽に挑戦し、“楽しく・明るく”をモットーに頑張っています。あなたもぜひお気軽に会場まで足をお運びいただき、一緒に声を合わせて歌いませんか？



主管団体名と連絡先：ポハイクウクレレ 宮副 090-2528-9300

逗子合唱祭 響き渡る美しいハーモニーの競演。

会期：10月18日(土) / 時間：開場13:00 開演13:30 終演16:30 予定

会場：逗子文化プラザなぎさホール

第1回からの参加実績を誇る合唱連盟は今年からアートフェスティバルに参加することになり、女声合唱、男声合唱、混声合唱、アカペラ男声合唱、それぞれ個性あふれる豊かな歌声を、色々なジャンルの曲にのせて、なぎさホールいっぱい響かせようと、張り切っております。初参加の合唱団もあり、楽しみにしています。心地よい合唱の響きをお楽しみください。



主管団体名と連絡先：逗子合唱連盟 北村 薫 046-873-4123

名作朗読を楽しむ 秋の日のひと時、朗読に耳を傾けてみては如何でしょうか？

会期：10月18日(土)

時間：開場13:00 開演13:30 終演15:30 予定

会場：逗子文化プラザさざなみホール

さざなみホール開設以来、ずっと続けてきた朗読会です。今年は江戸の女二題。秋の日のひと時、朗読に耳を傾け、じっくりと名作を味わってください。プログラム：北原亜以子作「蝶」朗読・岩井圭子 / 佐江衆一作「水明り」朗読・藤井永子



主管団体名と連絡先：朗読グループ「合歓(ねむ)の木」 岩井 046-873-1309

シャンソン・コンサート 日曜日のアフタヌーン、おとなの歌声と華やかな舞台のひととき。

会期：10月19日(日) / 時間：開場13:00 開演13:30 終演16:00(予定)

会場：逗子文化プラザさざなみホール

入場料：1,000円 前売り券のみ(当日券の販売はいたしません)

取り扱い場所：逗子文化プラザインフォメーション / 開始日：9月19日(金) 秋の訪れと共に、逗子の街にもやわらかな日差しがそそぎはじめます。そんな日曜日、古きよき時代のシャンソン、「枯葉」や「パリの空の下」、カンツォーネの「マンマ」「愛の詩」等々、幅広いジャンルの歌声をお届けします。秋を愛する心やさしい逗子の方々のために私たちは一生懸命歌います。



主管団体名と連絡先：C・C倶楽部 江藤 090-9206-7476

日本舞踊の会 舞台一杯に広がる舞と長唄演奏の粋と雅をお楽しみください。

会期：10月19日(日) / 時間：開場11:30 開演12:00 終演16:30 予定

会場：逗子文化プラザなぎさホール

錦秋の候のひととき、江戸の粋、京の雅、和の世界をお楽しみになりませんか？花柳・吉村・若柳各流派の日本舞踊と、女子東音会柿本社中の長唄演奏会です。逗子市文化祭の歴史と共にこの会も60回以上の公演を重ね毎年ご好評をいただいております。日頃日本の伝統芸能になじみの薄い方も、ぜひこの機会に身近で生の舞台に触れてみてください。



主管団体名と連絡先：逗子日本舞踊会 若柳哥世 046-871-2821

第40回公演『グレイクリスマス』結成から30年目の逗子市民劇団なんじゃもんじゃが骨太の大作に挑む。

会期と時間：11月14日(金) 開場18:00 開演18:30 終演21:00 予定

15日(土) 開場13:00 開演13:30 終演16:00 予定

会場：逗子文化プラザなぎさホール

入場料：前売2,000円 当日2,500円

取り扱い場所：逗子文化プラザ・インフォメーション、逗子レコード、椿書房他 / 取り扱い開始：10月1日(水) 予定

1945年冬、五條伯爵家は進駐軍に母屋を接収され、窮乏生活を余儀なくされる。財閥解体、新憲法発布、警察予備隊創設など、時代が大きく揺れ動く中で、懸命に生きようとする五條家の人々、日系米軍将校、怪しげな闇商人などが登場。

戦後の理想と現実が交錯する。作：斎藤 嶺、演出：石井徹夫



主管団体名と連絡先：逗子市民劇団なんじゃもんじゃ 石井 046-873-7529

Petit バレエコンサート

子ども達も、大人達も華やかに輝いています。

会期：11月16日(日) / 会場：逗子文化プラザなぎさホール

時間：開場 16:00 開演 16:30 終演 19:00 予定

4才の初舞台!一人でヴァリエーションを踊りたい元気な子ども達。舞台上で素敵な夢を見られる大人達。ゲストに NBA バレエ団の河野崇仁さんを迎えてのコンサート。

華やかなクラシックバレエの舞台をのぞいてみませんか?



主管団体名と連絡先：さかきばらバレエスタジオ 榎原 046-872-9955

逗子市詩吟詩舞連盟秋季発表大会 古今の名詩歌を美しい日本語で朗詠します。

会期：11月19日(水) / 時間：開場 9:40 開演 10:00 終演 16:00 予定

会場：逗子文化プラザなぎさホール

日本の伝統文化の一つである吟詠による漢詩、和歌、俳句の朗詠と詩舞の発表をいたします。そして吟道、華道、書道のコラボレーションによる立体吟を行います。連盟傘下の9団体・会派はそれぞれこの日のために稽古練習を積み重ねております。今、詩吟は健康面でも注目されています。この機会にぜひご来場ご鑑賞ください。



主管団体名と連絡先：逗子市詩吟詩舞連盟 森岳靚(かくせい)046-873-1979

展示・その他部門 開催日順に掲載

鎌倉彫桐彫会展 湘南の風に調和する伝統工芸の“技”

会期：10月15日(水)～17日(金) / 時間：10:00-17:00 17日は16:00まで

会場：逗子文化プラザさざなみホール

鎌倉彫桐彫会は、地域文化を共に創造する人々が集い、伝統工芸鎌倉彫を共に学び、創作の喜びを分かち、上質な伝統工芸を目指して、今年35周年を迎えました。世界遺産登録運動でも今に生きる文化活動として、その価値の再発見がなされています。デジタルな時代に、「人の技」は、今吹いている湘南の風に見事に調和します。ご高覧ください。



主管団体名と連絡先：鎌倉彫桐彫会 事務局 桐原 080-5026-1781

写真展 美しい自然の風景…自信作ばかりです。

会期：10月14日(火)～16日(木)

時間：10:00～17:00 16日は16:00まで / 会場：逗子文化プラザギャラリー

逗子カメラグループは、美しい自然の風景・スナップなどの撮影を主に活動しているグループです。会員の写真技術高揚と親睦を図り、定例会では14名のメンバーが夫々写真を持ち寄り投票により順位をつけ、年度賞などを設けています。ここで評価の高かった作品と、自身で納得のいく作品を文化祭で発表いたします。ぜひご高覧ください。



主管団体名と連絡先：逗子カメラグループ 金子 046-872-0005

さつき盆栽及び山野草の展示会

さつきの樹形をご鑑賞いただき、山野草の素朴で自然な美しさをお楽しみください。

会期：10月17日(金)～19日(日)

時間：9:00～17:00 17日は12:00から 19日は16:00まで

皐月は盆栽として、多様な樹形を楽しんでいただけます。寄せ植えの山野草は、多様な草花がありますが先ず七草(はぎ・おばな・くず・なでしこ・おみなえし・ふじばかま・ききょう)で見せ場を作り、つゆくさ・くず・りんどう・きんそう・いそぎなど自然の姿とその可憐な美しさをお楽しみください。



主管団体名と連絡先：逗子皐月・山野草の会 石田 046-872-6448

鉄道模型展示・運転会 会場一杯に敷設したレイアウト上を快走する列車・電車をお楽しみください。

会期・時間：11月8日(土)は10:00～17:00・9日(日)は10:00～15:00

会場：市民交流センター2階・第2・3・4会議室

逗子模型クラブは、昭和41年度から参加しており、今年は第48回鉄道模型展示・運転会です。

会場では、会員自作の鉄道模型の展示と運転を行います。会場一杯に敷設した8×4mの大型レイアウト上を快走する列車・電車をお楽しみください。ちびっ子を対象に体験運転もできます。ただし車両の持ち込みはできません。車体はペーパー、真鍮板、プラスチック等で作ります。近年の車両は曲面が多く複雑なので作業は大変です。製作過程が分かる資料も展示します。



主管団体名と連絡先：逗子模型クラブ 林 046-871-7364

書道展(公募) 美しい書に心洗われるひとときをお楽しみください。

会期：11月12日(水)～14日(金) / 時間：10:00～17:00 14日は16:00まで

会場：逗子文化プラザさざなみホール

漢詩を素材とした漢字部門、俳句・和歌を素材としたかな部門、篆書体を印刷した篆刻部門、漢字とかな混合の調和体部門を作品としてそれぞれ軸表装、額表装に仕立てて発表展示します。逗子書道連盟は逗子市内7会派の集合体で、連盟各教室の作品と市民公募作品を含め、約80点の書作品が一堂に並びます。この機会に“逗子の書”を一覧ください。

作品の公募：出品要項をご確認の上、所定の申込書にご記入・ご投函ください。必ず本表装してください。出品料は1,000円です。出品要項と申込書は下記の連絡先にご請求いただくか、逗子文化プラザ・市民交流センター・市役所1階情報公開課・沼間公民館・小坪公民館にも常備していますのでご利用ください。出品申込書の提出のない作品は受付いたしませんのでご注意ください。申込み締め切りは10月20日(月)必着です。



主管団体名と連絡先：逗子書道連盟 事務局 森 046-873-7259

南画展 花鳥風月、幽玄な世界をご覧ください。

会期：11月12日(水)～14日(金)

時間：10:00～17:00 12日は11:00から 14日は16:00まで

会場：逗子文化プラザギャラリー

南画は中国の南宗画を基として江戸中期から盛んになり、文人画とも通じています。池大雅、与謝蕪村、渡辺崋山、谷文晁、富岡鉄斎など大家が続出しました。画題は山水に限らず、花、鳥、動物、人物にも及んでいます。また墨だけではなく色も使い色彩豊かに書き上げ、写意を第一とし、加えて逸格、去俗を重要視しています。ぜひ会場に足をお運びいただきご覧ください。



主管団体名と連絡先：逗子南画会 柳瀬 046-873-5855

コントラクトブリッジ大会&ブリッジ・サロン

世界130カ国以上で楽しんでいるマインドスポーツ、コントラクトブリッジの競技会です。お気軽にご参加ください。

会期：11月15日(土) 時間：競技会は10:30から、14:00からの2回

ブリッジ・サロンは11:00から15:00まで 出入り自由

会場：市民交流センター第2・3・4会議室

参加費：競技会は午前/午後 各800円 ブリッジサロンは無料です。

競技会 オープン/初級クラス2セクション ペア/シングル

事前申込み 11月12日(水)まで 山村 FAX&TEL046-873-0148

今年で4回目の大会です。会場も広くなりました。試合に出たことのない方も初級クラスにお気軽に参加して楽しんでください。ブリッジサロンは競技会とは別に自由参加・出入り自由で遊べるテーブルを用意しています。



主管団体名と連絡先：百合の会 山村 046-873-0148 後援：NPO 大船ブリッジセンター

諸流いけばな展 季節の花木を使い、はなやいだ雰囲気。

会期：11月16日(日)～17日(月)

時間：10:00～17:00 17日は16:00まで

会場：逗子文化プラザさざなみホール・ギャラリー

さざなみホールでは、逗子葉山の華道会員によるいけばな作品を、ギャラリーでは門下生による、家庭でも活けられそうな小品が多数並びます。伝統を受け継ぐ日本の美をご鑑賞ください。

16日(日)には、11時より無料体験教室を20名限定で行います。お気軽に参加して実際に花を活けて見ましょう。華道会のメンバーが親切にお手伝いいたします。

主管団体名と連絡先：逗葉華道会 佐伯 香 046-841-0987



市民囲碁大会

腕に覚えのある方はぜひご参加ください。小中学生や女性は大歓迎です。

会期：11月16日(日) / 時間：9:00～16:30

会場：市民交流センター第2・3・4会議室

参加費：大人(高校生以上)1200円 中学生以下500円

- ・棋力により4クラスに分け、それぞれ4回対局。
- ・3勝以上に賞を贈呈します。
- ・小中学生、女性大歓迎

出場者の公募：10月1日(水)から28日(火)まで
ご希望の方は下記の連絡先へお申込みください。

但し、100名になり次第締め切り

主管団体と連絡先：逗子市囲碁協会 井原 0467-25-0675



アマチュア無線公開運用 市制60周年記念局の運用も行います。

会期：11月16日(日) (雨天の場合は展示コーナーにての開催となります)

時間：10:00～15:00

会場：市民交流センター1階展示コーナー及びフェスティバルパーク

アマチュア無線の免許取得から開局までの相談会と公開運用。災害時の通信ボランティアの活動やその他通信に関することについての説明及び質問受付。今年は、市制60周年を記念して記念局8J1ZCの運用を行います。詳しくはホームページをご覧ください。

JAIYUUで検索してみてください。

主管団体名と連絡先：逗子葉山アマチュア無線クラブ 石井 046-872-2350



美術展(公募) 心揺さぶる市民のアートにめぐり逢う秋～好日。

会期：11月19日(水)～21日(金)

時間：10:00～17:00 19日は11:00から 21日は16:00まで

会場：逗子文化プラザさざなみホール・ギャラリー・

市民交流センター1階展示コーナー・2階ラウンジ・第2・3・4・5会議室

逗子市民と逗子美術協会会員との公募美術展で絵画と工芸の合同展覧会。参加者は毎年100名を超え、200点以上の作品が皆様をお迎えます。この3日間は文化プラザと交流センターが美術館へと様変わり。また、いつもと違う市民の顔を見ることが出来ます。

芸術の秋、市内でアート鑑賞をしてみませんか？きっと貴方も心揺さぶる何かにめぐり逢うはず。

作品の公募：出品要項をご確認の上、所定の申込書にご記入・ご投函ください。出品料は1,000円です。出品要項と申込書は下記の連絡先にご請求いただくか、逗子文化プラザ・市民交流センター・市役所1階情報公開課・沼間公民館・小坪公民館にも常備していますのでご利用ください。出品申込書の提出のない作品は受付いたしませんのでご注意ください。申込み締め切りは10月17日(金)必着です。

主管団体名と連絡先：逗子美術協会 事務局さとう 046-871-8533



市民企画



逗子のまちなかで市民によるアート企画を開催。作品展示や音楽・演劇の披露、ワークショップなどまちなかを巡りながらアートに触れる企画。



9/20 [土] ~ 12/8 [月] 11:00~18:00 会場: zushi art gallery

1 5-exhibitions

zushi art gallery にて秋から冬にかけて5つの展覧会を開催。

9/20 ~ 10/6 ムネチカアヤコ個展 (絵画) 10/10 ~ 10/27 3人展 (コンテンポラリーアート)

10/31 ~ 11/17 木村月子個展 (絵画) 11/21 ~ 12/8 yucchi 展 (絵画・イラスト)

連絡先 [zushi art gallery] 090-1652-9046



9/20 [土] ~ 11/24 [月祝] 会場: 東逗子駅周辺商店内

地元発信！世界一周絵画展

沼間在住の画家永野蒼雲さんの絵画展です。沼間会館の教室の生徒さんらとのスケッチ旅行や2回の世界一周旅行で描きためた水彩画、日本画、油絵を東逗子周辺の商店の店内に期間中展示しています。心を込めて描かれた一点一点をお買い物やお散歩の際にお楽しみください。

連絡先 [松本] 070-6979-6420



会期中 土・日曜日 会場: 市内各所 (詳細はHP)

Are you feeling nature?

自然をモチーフとした鮮やかな色彩の作品が人気の逗子市出身のアーティスト <Loco> が、逗子市内の自然の中で展示を行います。海と山に恵まれた逗子市の自然と Loco の作品が織りなす空間を展示 map を手に巡ってみてください。きっと HAPPY な気持ちになりますよ!
<http://locoartworks.com/>

連絡先 [高橋] upsproduce@ybb.ne.jp



9/29 [月], 10/5 [日] 会場: 黒門カルチャーくらぶ

2 クリスタルボウル & パステルアート ~サウンドアートヒーリング~

クリスタルボウルの生演奏を聴きながら、パステルアートを描くサウンドアートヒーリング体験ワークショップ。パステルアート講師: ruru*maria、クリスタルボウル演奏: なかもとまゆみ

[時間] 13:30 ~ 16:00 [定員] 8人 [料金] 4,500円

連絡先 [なかもと] 080-4131-0410



10/4-5 [土・日] 10:00~17:00 会場: フェスティバルパーク

3 ずしアートのみの市

小さなお子様からお年寄りまで、気軽にアートに触れられる楽しいイベントです。家族の遺作や趣味で作った工芸品などを、手放す目的で展示して、気に入った方にはお譲りいたします。販売を目的とするものではありませんので、どなた様でも安心してご参加ください。雨天中止。[参加費] 無料

連絡先 [いしわた] 046-873-2037



10/11 [土]～10/13 [月祝] 会場:長坂邸 (逗子市池子 2-7-10)

4 文学カフェ ～「万年青」を読んで語り合う、穏やかなひと時

池子から発信する「文学カフェ」。昨年脳梗塞で倒れ多くの方の優しさに支えられて蘇生し復活し、今を生きる「私」の経験を活かした『万年青』を読み、人の優しさやつながりを心穏やかに語り合うカフェです。読むと心が温かくなると思います。音楽の流れる穏やかな空間でお茶やお菓子を囲み静かに過ごしませんか。[時間] 11:00～16:00 [定員] 4～5人 (要予約)

連絡先 [長坂] 080-5176-4505 046-872-3298



10/18 [土] 14:00～ 会場:カトリック逗子教会2F 聖堂

5 ヒーリング・コンサート

美しいハーブとピアノの音色で心を開放するひとときを過ごしてください。ヒーリング・ハーブの演奏は、逗子在住の山縣麻由さん。優しいピアノの演奏は、作曲も手がける石井秀憲さん。プログラムを進行してくださるのは、湘南ピーチ FM の森川いつみさんです。[定員] 250人

連絡先 [細井] 090-1403-2009



10/18 [土] 10:00～11:30 会場:市民交流センター第6会議室 (HP要確認)

6 えいごでアート&クラフト

おやこ英語サークル「おうちでえいご タートルズ」の公開イベント。お絵かきやぬり絵、折り紙で工作など、英語で楽しく遊びましょう。親子参加が中心ですが、英語で幼児と遊ぶという人は誰でも大歓迎♪申込み不要、出入り自由。[参加費] 無料 <https://www.facebook.com/eigo.turtles>

連絡先 [水本] 090-8567-4823



10/18-19 [土・日], 25-26 [土・日] 12:00～17:00 会場:喰舌処 山や

7 海を感じて、癒す、飾る、楽しむ時間

【ハワイアンリース/生花アレンジメント】花と遊ぶ いけばな嵯峨御流 余田紫南によるワークショップ。各 3,000 円 【体と心を癒す Ouchi Salon Kahi Iom】猿田友美によるロミロミ・ハンド・ヘッドマッサージ。15分 1,000円～【オリジナルを作る TIDE TIDA】オーダーアクセサリー。1,500円～ [定員] 各 10人

連絡先 [余田] 090-5255-4954



10/19 [日] 10:00～15:00 会場:エム・ド・フルール3階 (MDFビル)

8 フラワーアレンジメントを楽しもう

花と向き合う楽しさ、作る喜びを感じてもらおう為の体験ワークショップ。プリザーブドフラワーを使ってアレンジメントします。終了後はおいしい紅茶とお菓子を召し上がって頂きながら、生花からプリザーブドフラワーに加工する工程をレクチャーさせて頂きます。親子の参加や男性の方も大歓迎です。[定員] 先着 20人 [料金] 2,500～3,000円

連絡先 [鈴木] 046-871-1731



10/25 [土] 14:00～15:00 (開場 13:30) 会場:cafe' ポンタヴェン

9 吉良剛のギター生音コンサート

フランス地方の焼き菓子を中心にして、ドルチェブッフエ風セルフでお召し上がられるようにご用意しています。初秋の風を感じる過ごしやすい季節、生ギターの音色の響きを cafe' ポンタヴェンのゆる～く流れている空間で自分だけの時間を贅沢に満喫してお過ごしただけです。[定員] 15人 [会費] 1,800円 (お茶+お菓子付き)

連絡先 [水谷] 046-871-2248



10/26 [日] 10:30～15:00 会場:黒門カルチャーくらぶ

10 逗子ハロウィン!

大きなオレンジパンプキンでのジャックオーランタン作りやピニャータ、地元の作家さんハンドメイドやさまざまな国の雑貨、美味しい食べ物など盛り沢山です。是非仮装をして遊びにきてください!さて今年は何に変装しようかな? 【ジャックオーランタン作りワークショップ同時開催!親子ペア先着 30組 (申込制)。材料費込 2,000円】

連絡先 [岸田] 046-897-3193 summer_mae@m.jcnnet.jp



11/1 [土] 11:00～ 会場: 亀岡八幡宮「逗子コミュニティパーク」ステージ

11 おしゃれにフェアトレード ～みんなのファッションショー～

生産者の働く環境に配慮した「フェアトレード」は、倫理的なファッションとして日本のファッションistaに受け入れられつつあります。そんな「フェアトレード・ファッション」を市民が集うコミュニティパークの舞台上でファッションショーを通して紹介します。あなたのおしゃれが世界の平和への一歩となります。http://fttzushievent.wix.com/fttzushi

連絡先 [磯野] 090-9807-1925



11/1 [土] 10:00～15:00 会場: 逗子文化プラザ

12 作ろう、着よう、くるきる

「手づくり」を大切に暮らす、子育て世代のお祭りです。「手で作ることで、手から学ぶ」をテーマに親子で楽しむアートワークショップ、ママ達のハンドメイドのお店がたくさん並び、また地元の美味しいごはんやおやつ屋さんが勢ぞろいします。親子で遊びに来てください♪

連絡先 [川口] 090-7186-9324



11/1 [土] 14:00～16:30 会場: 長島孝一郎 (逗子市新宿 1-5-14)

13 文化財住宅で聴く「平家物語」

家の傍らに流れる田越川は、川端で平家最後の嫡男六代御前が斬首された事に由来して「御最後川」とも呼ばれています。それに因んで「六代斬れ」その他の平家物語を琵琶で聴きます。

[定員] 先着 40名 [参加費] 3,000円 (資料、茶菓代を含む)

1900年 法律家の祖父長島鷲太郎が建てた別荘が文化庁の登録有形文化財に登録。登録文化財の意義と家屋の歴史などを説明します。

連絡先 [長島] FAX046-873-7786 (要 FAX 申込)



11/2-3 [日・月祝] 会場: 山の根 熊野神社

14 山の根自治会文化芸術祭 at 熊野神社

山の根自治会会員の相互の新睦や交流を目的にした「山の根自治会文化芸術祭 at 熊野神社」ですが、どなたでも楽しんでいただけたらと思います。1 日は作品展。2 日はアトラクションです。ご来場の皆様も参加していただけるような盛りだくさんの企画でお迎えます。[参加費] 100～300円

連絡先 [龍村] 046-872-0976



11/6 [木] 10:00～12:00 会場: 逗子文化プラザ・さざなみホール

15 第55回逗子サロンコンサート特別企画 秋の音楽講座「ウィーンの中央墓地に眠る音楽家達全4回」

10回目の音楽講座を11月6・27日、12月11・19日に開催。ウィーンの中央墓地に眠るベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、J・シュトラウス、サリエリ、ツェルニー等、音楽家達の芸術的墓石、生涯、功績、ウィーンとの関わり等、演奏を交えてレクチャー。講師は市内在住ピアニスト飛松利子氏。[料金] 4,000円 (全4回) 連絡先 [松本] 080-5640-6043



11/8 [土] 14:00開演 会場: キリガヤ本社3F

16 湘南演劇塾主催「ドラマティック・リーディング」

一時代小説の傑作選を、語り手たちが現代に蘇らせるー耳から広がるドラマの世界! 時代小説の中で生きる主人公たちの、生きた心の魂をあざやかに蘇らせることが出来るのか、語り手たちの怒涛の挑戦! ドラマティック・リーディング第2弾! 乞うご期待!

[定員] 50人 [料金] 1,000円

連絡先 [前田] 080-5383-6430



11/8 [土] 19:00～21:00 会場: 逗子文化プラザ・さざなみホール

17 Moon Dance ～ダンス&サウンドセラピー～

心身の癒しや脳の活性化に有効と言われる倍音を多く含むクリスタルボウルや、カリンバ、フレームドラム、パーカッションと言った民族楽器の生演奏を全身に浴びて行う、ダンスと音楽のワークショップ。[定員] 15人 [料金] 事前2,000円 当日2,500円

連絡先 [なかもと] 080-4131-0410



11/9 [日] 14:00開演 会場: 逗子文化プラザ・さざなみホール

18 第54回逗子サロンコンサート定期演奏会
「ソプラノとカウンターテナー歌の響演」

出演は山田華・山田麗(共にソプラノ) 逗子在住2人と、福岡県久留米市出身のカウンターテナー古賀久士3人で日本の歌、オペラ、オリジナルソングを多彩に歌う、ピアノは川崎龍。[料金]一般 2,500円、高校生以下 1,000円 **連絡先** [松本] 080-5640-6043



11/22 [土] ~12月 詳細はHP 会場: 東逗子ふれあい広場

19 東逗子イルミネーション~光の夜まつり~

東逗子駅前イルミネーションを、年の瀬を彩る東逗子駅前中心部のシンボルとして活用し、美しい「光の夜まつり」を行います。出店は地域商店街などから募り、まちの賑わいを創出し、東逗子地区全体の活性化と地域振興を図ります。詳細は <https://www.facebook.com/higashizushi.fureaihiroba>

連絡先 [逗子市商工会] 046-873-2774



11/16 [日] 会場: 逗子海岸中央、亀岡八幡宮~逗子中央商店街

20 第23回 逗子海岸流鏑馬
第17回 逗子海岸流鏑馬武者行列

約800年前に行なわれた「逗子流鏑馬」を再現し、逗子海岸の秋のイベントとして、流鏑馬・手作り甲冑隊による武者行列を実施します。逗子中央商店街地区でのパレード、稚児行列も加わります。

連絡先 [逗子市商工会] 046-873-2774



11/20 [木] ~11/24 [月祝] 10:00~17:00 会場: 池田邸 (逗子市逗子6-5-35)

21 マニーナフェスタ

逗子在住の作家と演奏家のコラボレーション。アクセサリー、人形、陶芸、布作品等の展示販売とコンサート。銀粘土体験あり。[定員]コンサート 30席 [料金]入場料 300円(飲み物菓子付)、コンサート 1,200円(10:30、14:00 要予約)

連絡先 [池田] 046-872-3107



11/22 [土] 14:00~ 逗子市役所前集合~脇村邸、蘆花記念公園休憩所など

逗子の別荘庭園を散策し、横光利一、中里恒子、多田裕計の描写した逗子を読む

旧藤瀬・脇村邸を訊ねるとともに、横光利一、中里恒子、多田裕計の描写した逗子の自然や風物を読み、改めて逗子の魅力を味わいます。

[定員] 30人(要事前FAX申込) [参加費] 1000円(当日集金)

連絡先 [山本] TEL 080-5096-1385 / FAX 046-875-1772



11/23 [日] 14:00開演 会場: カトリック逗子教会

22 2014 フォルクローレ交流演奏会 inZUSHI

フォルクローレを愛する者が集い、演奏を通じ交流を深めるとともに、地域の活性化を図ります。出演グループは10グループ。[定員] 150人(予定)

連絡先 [平野] 046-873-2172

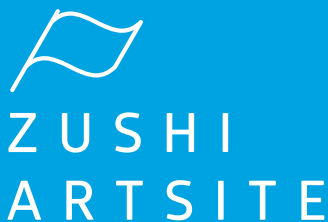


11/24 [月祝] 午後から 会場: カトリック逗子教会

23 ZUSHIチャペル音楽祭

ZAF2014 最終日! 映像プロジェクションと音楽のコラボ、ゴスペル、オペラ、ライアー、ダンス等、バラエティコンサートお楽しみに! [一部] 市内ミュージシャンコンサート [二部] 長島源& Otoji+Rayと映像プロジェクション [定員] 250人

連絡先 [青柳] 090-4365-6636



ZUSHI ARTSITE

MEDI-ARTz ZUSHI

ma/z

メディアアーツ逗子

9/20(土)~10/13(月祝) 10:00~16:00

逗子市内各所でアーティストが滞在制作をしてアート作品を作成。創りだされた新たな場を感じてください。

詳細はこちら <http://zushi-artsite.com>

9/20(土)~9/28(日)

【9/20-21 プロジェクションマッピング】
1回目 18:30、2回目 20:00、交流センター等

【9/20~28 まちなかミュージアム】

市内各所で行うメディアアート企画

第64回 逗子市文化祭

会場：逗子文化プラザ・交流センター

市民による アートの祭典 市民企画

10/13(月祝)~11/21(金)

長い歴史と伝統の中で市民文化の花を咲かせてきた逗子市文化祭。

今年は 20 団体、39 日間にわたり開催いたします。

9/20(土)~11/24(月祝)

作品展示や音楽・演劇の披露、ワークショップなど逗子のまちなかで市民 27 グループによるアート企画を開催いたします。

[市民サポーター]

逗葉三田会有志/菊池地所株式会社/アトリエさと/ OinuK アソシエイツ/渡邊忠貴/大塚晴夫/㈱トランザクト/
逗子市スポーツ指導者連絡協議会/T O N Y S /右田隆一郎/ユキ★ダンス★スペース SINCE1981 /吉田奈美/
逗子市文化スポーツ課有志

その他、多くの匿名の方から市民サポーターにご応募いただきました。本当にありがとうございました。

ZAF 2014 公式ガイドブック

【お問い合わせ】ZAF2014 事務局 〒 249-0006 逗子市逗子 4-2-11 (文化スポーツ課)

TEL 046-873-1111 (内線 7841) FAX 046-872-3003 Email bunkasinkou@city.zushi.kanagawa.jp

詳しくはホームページにて <http://zushi-art.com>

主催 逗子アートフェスティバル実行委員会 / 共催 逗子市、逗子市教育委員会

平成 26 年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ / 宝くじ助成事業



逗子アートサイト 2014 スタンプラリー

各エリアに1個つスタンプが設置してあります。すべての会場を回って下の空欄に集めてみよう！※特典等はありません。



東逗子
旧キリガヤ



SUZUKIYA
屋上



銀座通り
商店街



逗子海岸
黒門



蘆花記念
公園

